

高等院校日语专业基础课教材

日语泛读 教程

2

21世纪日语教材编写组
主编 张敬茹 刘艳萍



- 指导学生阅读日语原版文章。
- 语法解释简明扼要。
- 练习充分，针对性强，迅速提高阅读能力。

南开大学 出版社

日 语 泛 读 教 程

第 二 册

主 编 张敬茹 刘艳萍

编 者 刘艳萍 王淑兰 王秋兰

南 开 大 学 出 版 社

天 津

图书在版编目(CIP)数据

日语泛读教程. 第2册 / 张敬茹, 刘艳萍编著. -- 天津: 南开大学出版社, 2002. 11
ISBN 7-310-01784-6

I. 日... II. ①张... ②刘... III. 日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 060410 号

出版发行 南开大学出版社

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮编: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542

邮购部电话: (022)23502200

出版人 肖占鹏

承印 天津蓟县宏图印务有限公司印刷

经销 全国各地新华书店

版次 2002 年 11 月第 1 版

印次 2002 年 11 月第 1 次印刷

开本 880mm×1230mm 1/32

印张 8.125

字数 230 千字

印数 1—5000

定价 13.00 元

本教材为天津外国语学院日语系科研项目

主 编 张敬茹 刘艳萍

编委会 (以姓氏笔画为序)

刘艳萍	张晓希	张敬茹
胡玉琴	赵淑玲	

编 者 (以姓氏笔画为序)

王秋兰	王淑兰	付志坚	刘艳萍
杜武媛	张晓希	张敬茹	花 超
胡玉琴	赵淑玲	晁春莲	盖丽亚
窦金兰			

前 言

在多年的日语教学实践中,我们深深感到:从日语学习的基础阶段开始,系统地指导学生大量阅读日文原版文章,使之掌握阅读方法,不断提高阅读理解及分析解决问题的能力,扩大知识面,丰富语言,是打好日语基础及学好日语必不可少且不容忽视的一个重要问题。为满足日语教学的这一需求,我们编写了这套《日语泛读教程》,以解决日语教学及日语学习者之急需。

本教材适用于日语专业的泛读课、大学日语的阅读课和各类日语教学单位的教学,也可供广大日语自学者使用。并可作为精读教材的配套教材使用。

本套教材分为四册,每册 20 课,每课由课文、新单词、语法句型说明、课文练习、课外阅读训练五部分组成。“课文”均为经过严格筛选的日语原文。选材时充分注意了思想性、知识性、科学性、实用性、趣味性和可读性,同时兼顾文章题材的广泛性和体裁的多样性。在编排上充分考虑了文章的长短适中和难易程度由浅入深循序渐进。

“新单词”部分,提出影响阅读和理解的词汇,标注出日语的读音和汉字,并加中文解释。“语法句型解释”部分,对课文中出现的重点语法现象和句型使用,进行简明扼要的解释说明,例举 2~3 个例句并加译文。例句力求贴近生活,即有趣又实用,帮助学生加深对新的语法现象、句型的理解和运用。“课文练习”部分,以提高学生的理解能力和

突出在教学中的指导性作用为原则。提出的问题均与课文内容紧密相关,帮助学生掌握本课所学内容,并予以检查。其中练习一为词汇的读音和日文汉字的书写;练习二为语法句型、词汇、副词用法、惯用句等的活用;练习三是围绕课文内容的思考判断及问答题。题型四册各异,各有侧重点。“课外阅读训练”部分为快速阅读部分,每课选择一篇至两篇内容或知识点与课文相关的短文,文后根据各册的要求,提出形式不同的问题供学生进行练习,旨在提高学生的阅读能力,并竭力与国际日语能力考试、国内四、八级日语能力测试相接轨。为方便学习者,每册书后均附有参考答案、句型索引、单词索引。每册书后的“课外读物”部分,供学有余力且感兴趣的读者作为阅读理解的自测题使用。

本套书第一册供大学一年级下学期使用,第二册供大学二年级上学期使用,第三册供大学二年级下学期使用,第四册供大学三年级上学期使用。(以下编写人员均按姓氏笔画排序)

第一册由赵淑玲负责。编写人员:赵淑玲、晁春莲、盖丽亚。

第二册由刘艳萍负责。编写人员:王秋兰、王淑兰、刘艳萍。

第三册由胡玉琴负责。编写人员:花超、张敬茹、胡玉琴、
窦金兰。

第四册由张晓希负责。编写人员:付志坚、杜武媛、张晓希。

在本套书的编写过程中,始终得到了在天津外国语学院任教的日本专家的热情指导和帮助,天津外语学院东语学院的领导也为本书的编写及出版工作提供了各方面的支持和帮助,南开大学出版社的张华同志为本书录入文稿及组版工作付出了辛勤的努力,在此一并表示诚挚的谢意。

由于时间仓促,水平有限,难免存在不足和错误,敬请各位专家

及广大读者给予批评指正。

天津外国语学院日语系
《日语泛读教程》编写组
2002 年 5 月

目 录

第 1 課	お正月	1
第 2 課	祇園祭	11
第 3 課	玄関	18
第 4 課	「がんばれ」	27
第 5 課	おみやげ	36
第 6 課	携帯電話	47
第 7 課	使い捨て	55
第 8 課	電子メールとトラブル	63
第 9 課	こころの進化	72
第 10 課	映像化時代と言葉	80
第 11 課	シルバー産業	89
第 12 課	社会の産んだ「ニュービジネス」	98
第 13 課	満員電車	108
第 14 課	日本人と食生活行動	116
第 15 課	障子の破れに学ぶもの	127
第 16 課	気くばりのすすめ	136
第 17 課	独学のすすめ	145
第 18 課	なぜ卒業旅行なのか	154
第 19 課	まがりかどの中高年	164
第 20 課	お守り	173

课外读物	184
参考答案	208
语法句型索引	229
单词索引	232

第1課 お正月

正月は日本人にとってたくさんある伝統行事の中でも、もっとも大切な行事です。

正月の前の年の12月は「師走」と呼ばれ、1年間の仕事を全部終えて、新年を迎える準備をします。デパートや商店では正月用の商品を大安売りします。繁華街では夜おそくまで忘年会を楽しむ人の姿が見られます。暮れになると家族中で家の中のそうじをして、正月の飾りつけをします。家の入り口には門松をつけ、家の中には鏡もちを飾ります。正月料理として「おせち」を作ります。地方ではもちつきをすることもあります。元旦に相手の人に届くように年賀状も書いて出します。12月31日を「大晦日」と言います。除夜の鐘を聞きながら年越しそばを食べます。初日の出を見ようと、山や海へ行く人もいます。

元旦には家族そろって正月の料理を食べます。正月の酒「おとし」を飲んだりお雑煮を食べたりします。お雑煮は1000年の歴史を持つ正月料理です。汁の中にもちや魚や鳥肉や野菜などが入っているものですが、地方によって材料や作り方がちがいます。

新年に初めて神社や寺へおまいりに行くことを「初もうで」と言います。おさい銭をあげて新しい年の幸福を祈ります。おみくじをひいて、1年の吉凶をうらなう人もいます。そして正月の町はいつもより華やかです。それはふだん、めったに見かけない着物を着た

女性の姿がおおぜい見られるからでしょう。

また、今では少なくなりましたが、正月には特別な遊びがあります。たこあげ、カルタとり、羽つき、こままわしなどで、子どもも大人もいっしょに楽しめます。家々に「ししまい」がまわってくるところもあります。そして子どもたちにとって大きな楽しみは「お年玉」です。子どもたちは大人から現金の入ったお年玉袋をもらいます。一人の子どもがもらうお年玉の額は、数万円にもなり、この時期には小さなお金持ちがおおぜい生まれることになります。

地方から東京に来ている人たちは、正月になると、ふるさとへ帰ります。ふだんあまり会わない友人や知人と交流したり、届いた年賀状を読んで正月の三が日をのんびり過ごします。しかし、最近は正月を自宅で過ごさない人が増えてきました。ホテルに泊まる人や、海外旅行へ行く人もいます。若い人はスキーに行く人が多くなりました。おせち料理を作る家庭も少なくなって、デパートやスーパーでは高価なおせち料理が売られています。

このように正月もしだいに伝統的なものが少なくなってきました。それでも正月は日本人にとって新しい年を始める大切な行事であることはたしかです。心を新しくして1年の計画を立て、その年の幕開けをするのです。

(富岡純子・島恭子共著『日本語中級読解入門』による)

【新しい言葉】

師走（しわす）

暮れ（くれ）

飾り付け（かざりつけ）

腊月，（阴历）十二月

岁末，年终，年底

装点；装饰；装璜

門松（かどまつ）	门松
鏡もち（かがみもち）	（供神用的）圆形年糕
おせち	年节菜，节日食物
大晦日（おおみそか）	除夕；大年（腊月）三十
年越しそば（としこしそば）	除夕吃的荞麦面条
雑煮（ぞうに）	烩年糕
初日の出（はつひので）	元旦的日出
初もうで（はつもうで）	新年后首次参拜
さい銭（さいせん）	香资，香钱
おみくじ	神签
引く（ひく）	拔出；抽（签）
占う（うらなう）	占卜，占卦，算命
華やか（はなやか）	华丽，华美，华贵
たこあげ	放风筝
カルタ取り（カルタとり）	玩儿和歌纸牌游戏
羽つき（はねつき）	拍羽毛毽
こままわし	转陀螺
ししまい（獅子舞）	狮子舞
お年玉（おとしだま）	压岁钱
三が日（さんがにち）	正月的头三天
確か（たしか）	确实，确切
幕開け（まくあけ）	拉开幕

【新しい文法と文型】

①～にとって

接在名词后，表示某状态、判断、评价所成立的范围或基准。可

译为“对……来说”等。

○現代人にとって、ごみをどう処理するかは大きな問題です。

(对现代人来说，怎样处理垃圾是一个重大的问题。)

○車は私にとって、作家にとってのペンのようなものだ。

(车对我来说，就好比作家手中的笔一样。)

②～によって

接在体言后，表示对应关系，不同的情况有不同的结果。可译为“由于……不同，……也各异”等。

○国によって言葉も習慣も違います。

(不同的国家有不同的语言、风俗。)

○同じ料理でも、店によって味が違います。

(虽然是相同的饭菜，不同的餐馆有不同的味道。)

【練習】

一、次の漢字に振り仮名をつけなさい。

①忘年会 ②吉凶 ③届く ④除夜 ⑤現金

⑥年賀状 ⑦元旦 ⑧知人 ⑨鳥肉 ⑩大安売り

二、次の各文中の片仮名を漢字に直しなさい。

1. この一帯は東京のハンカガイ () です。

2. 子どもの成長をタノ () しむ。

3. 合図のカネ () が鳴る。

4. ジキ () がくればわかる。
5. 巨大なガク () に達する。
6. コウカ () で手も出ない。
7. 無事に使命をオ () える。
8. 新しい事業をケイカク () している。
9. シル () の多い果物。
10. イノ () るような気持ちで結果を待つ。

三、次の文を読んで、() に平仮名を1字ずつ入れなさい。

1. 学生 () とってもっとも大切なのは勉強です。
2. いつも5時には仕事 () 終えて家へ帰ります。
3. 年賀状は1月1日に相手の人 () 届くよう () 出します。
4. 子どもたち () 大人からもらうお金のこと () お年玉と言います。
5. 正月は大人も子どもも正月の遊び () 楽しめます。
6. いつも正月は家 () 過ごしますが、今年は海外旅行へ行きます。
7. デパートやスーパーではお正月の商品 () 売られています。
8. 正月は新しい年 () 始める大切な行事です。
9. 心 () 新しくして、1年の計画 () 立て、その年の幕開け () するのです。

四、次の言葉を説明した文を、右から一つ選んで記号を () に書きなさい。

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1. 初もうで () | a 正月に飲むお酒 |
| 2. おせち () | b 正月の遊びでカードを使った遊び |
| 3. おとそ () | c 正月の料理 |
| 4. おみくじ () | d 新年にはじめて神社や寺へおまいりに行くこと |
| 5. カルタとり () | e 自分の将来をうらなったことが書いてある紙で、神社や寺でひく |

五、次の文の_____にはどんな言葉を入れたらよいか。①～④から適当なものを一つ選びなさい。

1. この本は子ども_____は、おもしろいかもしれません。

- | | |
|-------|-------|
| ①にとって | ②というと |
| ③に対して | ④として |

2. 彼は音楽家_____、とても有名な人です。

- | | |
|-------|-------|
| ①として | ②とすると |
| ③によって | ④について |

3. お客様_____失礼なことがないようにしましょう。

- | | |
|-------|-------|
| ①にすると | ②によって |
| ③に対して | ④として |

4. アメリカ大陸は1492年、コロンブス_____発見された。

- | | |
|-------|-------|
| ①について | ②によって |
| ③に対して | ④によると |

5. 風の吹き方____、魚がたくさんとれたり、とれなかったりすることもある。

①について

②にとって

③にかんして

④によって

六、本文の内容とあっているものに○を、違っているものに×を書きなさい。

- 1 () 正月の前の12月は「師走」と呼ばれています。
- 2 () 繁華街では夜遅くまで正月用品を買う人が見られます。
- 3 () 日本人は大晦日に、除夜の鐘を聞きながら、そばを食べます。
- 4 () 日本では正月料理として「おせち料理」を食べる習慣があります。
- 5 () お雑煮は100年の歴史を持つ正月料理です。
- 6 () 新年に初めて神社や寺へ行くことを「初もうで」と言います。
- 7 () 子どもにとって正月の大きな楽しみは正月の特別な遊びです。
- 8 () 最近では正月を自宅で過ごす人が増えてきました。
- 9 () 地方から東京に来ている人たちは、正月になると、旅行に行ったりします。
- 10 () 日本では正月はしだいに伝統的なものが少なくなってきました。

七、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

正月遊び

- A 花①よりだんご
- B 犬も歩けば②棒に当たる
- C 論より証拠

昔から、正月の子供の遊びに、いろは四十七文字を文句の初めとするカルタの遊びがあった。「いろはガルタ」「いろはだとえ」などと呼ばれていたが、③そこに集められている文句は、もともと民衆の間で生まれ、語り継がれてきたことわざであった。それらを幼い人たちや若い人たちに、もっと効果的に覚えさせようとして、カルタという遊びに採り入れることになり、多くの中から四十七だけを選び出したのである。

(『おはよう ドリル』学宝社による)

問1 「①より」と用法が同じものを、次から記号で選びなさい。

- ア 木かげより涼しい。
- イ よりいっそう励む。
- ウ 寝るより仕方がない。
- エ 東京より大阪まで。

問2 「②棒」には、二つの意味がある。次から選びなさい。

- | | |
|------|------|
| ア 教訓 | イ 仲間 |
| ウ 幸福 | エ 災難 |

問3 「花よりだんご」が表す意味を、次から選びなさい。

- | | |
|------|------|
| ア 心配 | イ 努力 |
| ウ 実利 | エ 観光 |